



加東市立滝野南小学校  
学校通信

# 南小便り

No.26 平成 29 年 11 月 8 日

先週の3日間、業間休みに跳び箱教室を開きました。高さに挑戦しました。跳び箱までの距離や、着地までの距離や、着地をピタッと止めることにも挑戦しました。苦手だった子が、上級生の様子を見ながら練習をして跳べるようになりました。放課後、職員も、東播工業高校の体操部顧問の西面先生をお招きして、マット運動を中心に指導法について学びました。ともに挑みましょう。

## 平成29年度の全国学力学習状況調査（6年生 4月実施）の結果から ～全国平均との比較～

例年通り、国語と算数の知識問題（A）と活用問題（B）の学力調査と、質問形式による学習状況調査が行われました。国語は、話す・聞く、書く、読む、言語の4領域について調査され、算数は、数と計算、量と測定、図形、数量関係の4領域について調査されます。経年比較をして本校児童に継続的な課題が見つければ、そこには重点的な取組を施すべきだと思います。学力調査ではそのようなものは見つかりませんでした。学習状況調査ではいくつか見つかりました。では、以下に本年度の傾向と対策についてご説明します。

国語Aにおいては、総合的には全国平均並みでした。しかし、**書く力**は少々低いようです。国語Bにおいては総合的に全国平均よりやや低めでした。そして、同じように書く力が低かったです。様々な学習場面を通じて書く指導をしています。今後、授業の最後の振り返りの場面で、1時間の学習で理解できたこと、仲間に触発されたこと、疑問に思うこと、これからの学習に活かしたいことなどをきちんと書かせる作業に更に力を入れたいと思います。書いて振り返るといことは、最もダイレクトに思考力を育てることだと言われています。全校生で取り組みます。

算数Aにおいては、全国平均よりやや高い傾向です。中でも、**図形問題**がよかったです。算数Bにおいては、全国平均並みでしたが、**数量関係**がやや低かったです。比例や百分率、円・帯グラフの活用などに課題が見つかりました。特に算数については、ペア・グループ学習をしながら学習の活用と定着を進めているところですが、今後も互いの学習を活かし合いながら理解を進めていきます。

学習状況調査も同じく全国平均との比較になります。**朝食**をきちんと食べている子が、当たり前ですが非常に多いです。家の方が**学校行事**をよく見に来ることや、住んでいる**地域行事**への参加率がたいへん高いことは例年通りです。また、学級で**協力**してやり遂げて嬉しかったことがあると答えた子どもとても多かったです。これらは、子どもたちの生活・学習環境の安定を示していると思います。しかし、**就寝時間**をきちんと守っていない子が多いのが気になりました。また、**読書時間と図書館利用**（学校・市）の数字が低くなっているのも気になりました。そして、これは昨年度と同じなのですが、**テレビ・DVD・ビデオ**の視聴時間が長く、それに影響されてか**家庭学習**の時間が少ないという結果になりました。学校でも、読書活動の奨励や家庭学習の進め方などの指導をします。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、昨年度、「将来の**夢や目標**をもっていますか」という問いに対して「はい」と答えた子が少なかったのですが、今年はとても多かったです。嬉しい数字です。いつの6年生も、この質問に「はい」と元気な返事が返ってくるような指導を、ご家庭、地域とともに進めていきたいと切に思います。



たくさんの**カマキリ**がしがみついている枝を持って、窓の外に来てくれました。